

## 岩手県金融経済概況（平成 26 年 4 月）

### 1. 概 況

県内経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられているが、基調的には回復を続けている。

最終需要の動向をみると、個人消費には、このところ駆け込み需要の反動がみられているが、基調的には底堅く推移している。住宅投資は、増加している。公共投資は、震災復旧関連工事を主体に、大幅に増加している。設備投資は、増加している。生産は、振れを伴いつつも、持直し傾向をたどっている。こうした中、雇用・所得環境は、改善している。

### 2. 最終需要

#### (1) 個人消費

4 月の百貨店売上高、スーパー売上高、新車登録台数は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動などから、前年を下回った。

—— 百貨店売上高では、食堂・喫茶以外の全ての品目で前年を下回った。

—— 新車登録台数は、全体では前年割れながら、小型乗用車、軽自動車については、駆け込み需要により積み上がった受注残への対応などから引き続き前年を上回った。

#### (2) 建設投資（公共投資、設備投資、住宅投資）

公共投資（公共工事請負額；4 月）は、高水準の前年を上回る増加となった。

—— 4 月の大型工事では、海岸災害復旧工事、河川災害復旧工事等が目立つ。

民間設備投資（短観ベース）は、2013 年度については、被災設備等の再建投資の一服等から前年度を下回ったが、2014 年度は、製造業において幅広い業種、企業で増額計画とする中、新製品対応等に伴う大型投資計画が一部にみられることもあって、前年対比で大幅増の投資計画となっている。

住宅投資（新設住宅着工戸数；3 月）は、引き続き高水準の前年を上回った。

—— 3月は、持家（前年比+9.0%）、貸家（同+14.8%）が前年を上回ったほか、分譲（うちマンション）が前年比2.5倍と急伸した。

県内官民建設工事全体の出来高（建設総合統計；3月）は、前年比大幅に増加した。

### 3. 生産動向

生産は、振れを伴いつつも、持ち直し傾向をたどっている。

—— 3月の県内鉱工業生産指数（季節調整済計数）は、電子部品・デバイス、窯業・土石などで前月を上回ったものの、ウエイトの大きい生産用機械や輸送用機械などが前月を下回ったことから、全体では、前月比マイナスとなった。

### 4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、改善している。

有効求人倍率（季節調整値；3月）は、1.07倍となった（2013年5月以降11ヵ月連続して1.00倍以上となった）。

—— 職業別（原計数；3月）では、専門的・技術的職業（1.45倍）、販売の職業（1.38倍）、サービスの職業（1.49倍）、輸送・機械運転の職業（1.60倍）、建設・採掘の職業（2.49倍）などが、1.00倍を大きく上回っている。

雇用保険被保険者数（民間企業中心の全数調査；3月）も高水準を維持している。

名目賃金指数（3月）は、5ヵ月連続で前年比プラスとなった。

雇用者所得（県内合計値；3月）も5ヵ月連続で前年を上回っている。

### 5. 企業倒産

企業倒産（4月）は、4件、2.7億円と件数、金額共に前年を上回った。

### 6. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金、貸出は、前年を上回って推移している。貸出約定平均金利は、低下地合いを辿っている。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代） <http://www3.boj.or.jp/morioka/>